令和５年度　第２回静岡県企業局経営評価委員会

日時　令和６年２月８日（木）
　　午後２時から
会場　県庁別館９階特別第二会議室

次　　第

１　開　会

２　議　事

【報告事項】

（１）榛南水道の大井川広域水道との事業統合

（２）ふじさん工水への官民連携導入に向けた取組の進捗状況

（３）企業局におけるアクティブ広報の取組

（４）浄水発生土を園芸用土に加工し有効活用する業者の決定

（５）管路更新における新工法を取入れた施工

（６）地域振興整備事業（工業用地造成事業）の状況

３　閉　会

令和５年度第２回静岡県企業局経営評価委員会出席者名簿

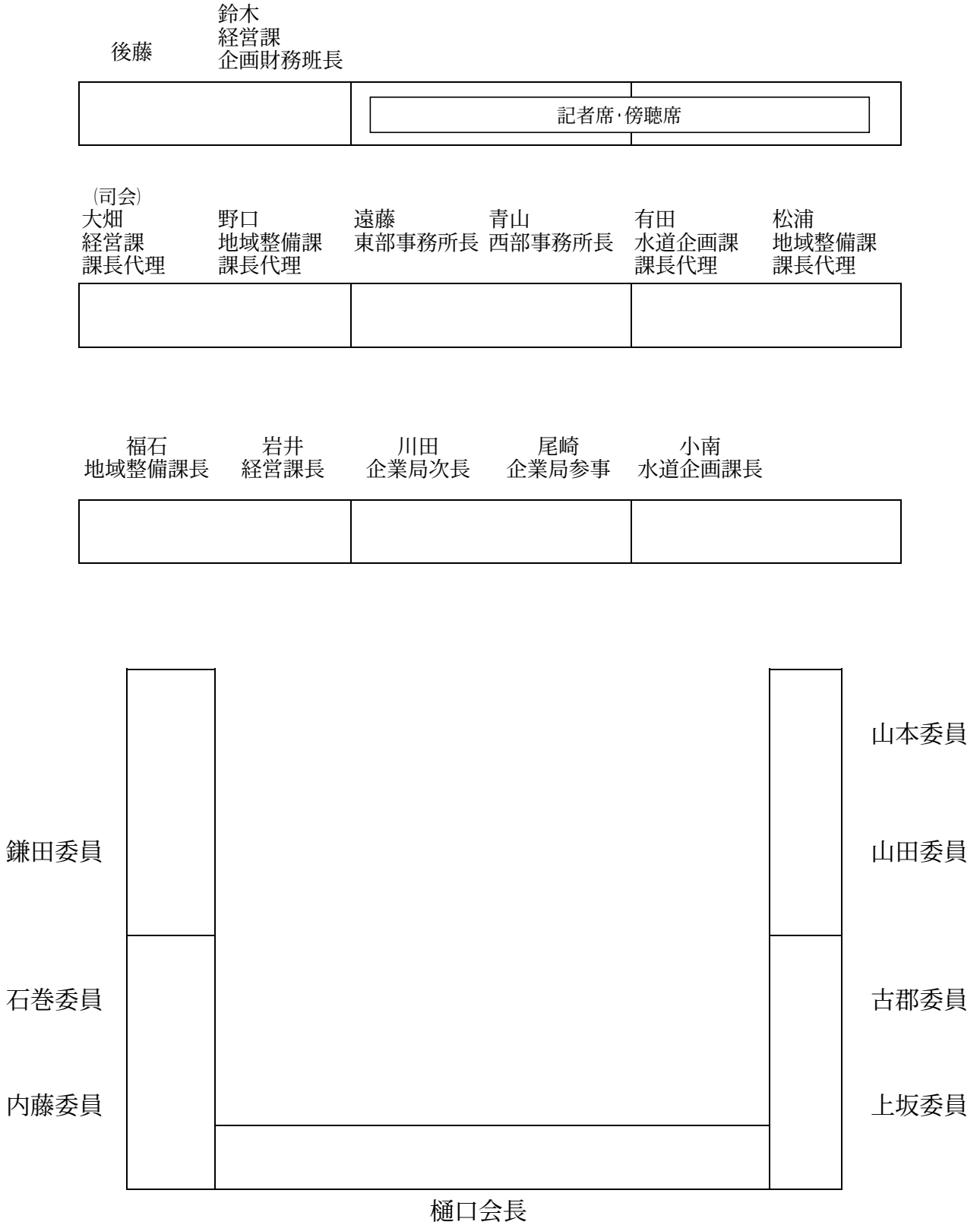
○委　員　　（五十音順・敬称略）

氏　　名	役　　職　　等	備　考
石巻　幹子	石巻幹子会計事務所　公認会計士	
鎌田　素之	関東学院大学　理工学部　准教授	
小泉　祐一郎	静岡産業大学　教授	欠席
上坂（こうさか）　美乃（よしの）	株式会社 上坂　代表取締役社長	
内藤　伸二朗	浜松市水道事業及び下水道事業管理者	
樋口　徹	東京成徳大学　経営学部　教授	会長
古郡（ふるこおり）　英治（ひではる）	富士商工会議所　専務理事	
山田　慎也	一般財団法人静岡経済研究所　理事	
山本　麻美（まみ）	株式会社 富永事業　代表取締役	

○事務局職員

職　　名	氏　　名	備　考
企業局長	木野　雅弘	欠席
企業局次長	川田　剛宏	
企業局参事	尾崎　元久	
経営課長	岩井　宏樹	
水道企画課長	小南　嘉宏	
地域整備課長	福石　基秀	
東部事務所長	遠藤　正	
西部事務所長	青山　直司	
経営課課長代理	大畑　英樹	
水道企画課課長代理	有田　卓司	
地域整備課課長代理	野口　宗寿	
地域整備課課長代理	松浦　吉洋	
経営課企画財務班長	鈴木　康弘	

令和5年度第2回企業局経営評価委員会座席表



令和６年２月８日
静 岡 県 企 業 局

令和５年度
第２回静岡県企業局経営評価委員会

（資　料）

頁

【報告事項】

１　榛南水道の大井川広域水道との事業統合‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　1

２　ふじさん工水への官民連携導入に向けた取組の進捗状況‥‥‥‥‥‥　3

３　企業局におけるアクティブ広報の取組‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　5

４　浄水発生土を園芸用土に加工し有効活用する業者の決定‥‥‥‥‥‥　7

５　管路更新における新工法を取入れた施工‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　9

６　地域振興整備事業（工業用地造成事業）の状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１１

（参考資料）

・企業局情報通信（Ｋリリース）　vol234～vol236

・広報関係資料（チラシ、富士市社会科副読本抜粋）

1　榛南水道の大井川広域水道との事業統合

（経営課、水道企画課）

1　要　旨

・同一圏域内の用水供給事業である榛南水道（企業局）と大井川広域水道(大井川広域水道企業団）は、令和 11 年度からの事業統合を目指している。
・令和６年度からは、両水道の接続工事に着手する予定である。
・関係者と調整し、不要な管路の充填処理を行うこと等により、榛南水道の受水２市（御前崎市、牧之原市）の負担軽減を図る。

2　概　要

（１）事業統合の概要

項　目	内　容
統合時期	・令和 11 年４月１日（目標）
統合方法	・企業団が企業局施設の一部を引継ぎ、大井川広域水道として経営 ・２箇所で施設を接続し、榛南水道の不要施設（浄水場等）は廃止
費用負担	・原則、２市負担 ・不要施設の撤去に要する費用には榛南水道事業清算後の残金を充当
統合のﾒﾘｯﾄ	・（事業統合しない場合と比較し）更新事業費約 160 億円の削減 ・企業団施設の有効利用（企業団の計画給水量と使用水量の乖離解消の一助）

（２）事業統合に係るスケジュール

項　目		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
施設整備	基本設計	→									
	実施設計等		→	→	→	→					
	施設整備(接続工事等)			→	→	→	→				
	洗管・充水作業等							→			
事業統合									●4/1		
撤去・充填処理（榛南水道）									→	→	→

（３）２市の負担軽減に向けた対応

項　目	内　容
交付金の活用	・国に対して、交付金制度の充実（両水道の接続工事や不要となる施設の撤去に対する支援）に関する要望を継続していく。
充填処理による撤去費の削減	・できる限り不要な管路を撤去せず、流動化処理土を充填する処理について道路管理者等と引き続き協議を行っていく。

2　ふじさん工水への官民連携導入に向けた取組の進捗状況

（経営課、水道企画課）

1　要　旨

ふじさん工水への官民連携の導入に向け、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（ＰＦＩ法）の規定に準じて、マーケットサウンディングや、実施方針及び要求水準書案の公表等を実施し、１月 19 日に入札公告を行った。今後、入札参加者からの提案を受け付け、技術審査と価格審査を行い落札者を決定し、８月下旬から事業を開始する。

2　概　要

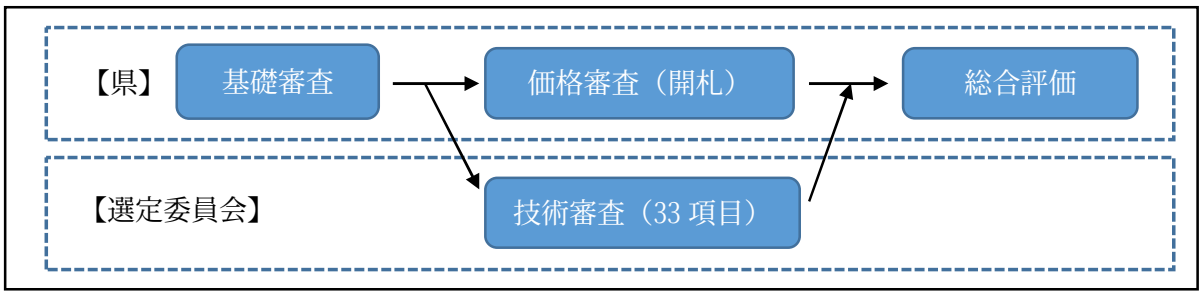
（１）対象業務

区　分	業　務
設計・施工業務（新ポンプ場）	設計業務、施工業務、試運転
運転・維持管理業務（富士川浄水場、厚原浄水場、蒲原取水場、新ポンプ場他）	運転管理（監視・操作・その他）、水質管理、保守点検修繕、保全管理、計測、危機管理、臨機の措置、環境整備、物品その他調達・管理（動力費・薬品を除く）、見学者対応、長期更新計画策定

（２）事業者の選定方法

・総合評価一般競争入札方式により落札者を決定

・新たに設置した事業者選定委員会により技術審査を行い、価格審査点を加算し総合評価審査点を算出（技術審査点：価格審査点＝200:100）



（３）要求水準達成の担保

・運転・維持管理業務については、要求水準の充足状況を確認するため、日常モニタリング、定期モニタリング及び随時モニタリングを行う。

・モニタリングにより要求水準の未達が確認された場合、県は事業者に是正要求を行い、適切な対応がなされない場合は委託料を減額する。

（４）スケジュール

時　期	内　容
令和６年６月 28 日	提案書の提出期限
令和６年８月上旬	落札者の決定（事業者選定委員会による審査）
令和６年８月下旬	契約締結（官民連携の導入）

3　企業局におけるアクティブ広報の取組

（経営課）

1　要　旨

企業局では、事業に対する幅広い県民の理解を促進するため、企業局情報通信誌（Kリリース）の発行や、浄水場見学等を通じて広報活動を行っている。今年度は、更なる広報の取組として、局内横断のアクティブ広報推進チームを発足し、富士市内の小学生向けに動画を制作した。

2　概　要

広報ポイント	・企業局の経営努力、運営の工夫をＰＲ ・環境教育・社会教育の場で活用できるような、分かりやすい（使える）資料を目指す
テーマ	富士地域の工業用水道事業の統合（薬品費、電力費の削減）
ターゲット	富士市内の小学生（子どもを通して間接的に地域にもＰＲ）
制作した広報媒体	ナレーション付き動画(約11分) ・富士市における工業用水道（導入の経緯） ・工業用水の浄水、送水過程 ・工業用水道事業の統合（薬品費と動力費削減） 

3　実績と今後の予定

日　付	展開先	備　考
R5.11.13	富士川第一小５年生	浄水場見学に合わせて動画視聴実施
R5.11.20	災害サポーター	研修会に合わせて動画視聴実施
R5.12.25	YouTube	広報課所管のふじのくにメディアチャンネルにて掲載
R6.1.25	工水ユーザー	Ｋリリースに記事を掲載（ＱＲコード込み）
R6.2月中	工水ユーザー	静清工水協力会の視察に合わせて動画視聴実施
R6.2月中	富士市教育委員会	富士市校長会にて動画の売り込みチラシを配布
R6.4～	富士市内小学校	富士市の小学校で使用する教材（副読本）の産業関係のページに動画のＱＲコードを掲載

（参考）アクティブ広報推進チームの概要

考え方	・局全体で検討体制を敷くため、３課から若手職員を中心にチーム組成 ・現場を担う事務所にも参加を呼びかけ
R5メンバー	経営課２名、地域整備課２名、水道企画課２名、東部事務所２名

4　浄水発生土を園芸用土に加工し有効活用する業者の決定

（水道企画課）

1　要　旨

浄水工程を行なう際に発生する浄水発生土は、基本的に産業廃棄物として処分することとなるため、処分費用が経営を圧迫している。

企業局では、12 月、厚原浄水場の浄水発生土を有効活用するため、公募型プロポーザル方式により業者（西武造園株式会社、西武アグリ株式会社）と契約した。現在、設計に着手しており、令和６年 10 月からの稼働を目指す。

2　概　要

（１）これまでの浄水発生土の処分（厚原浄水場の場合）

浄水発生土発生量
約 8,800ｔ/年（５年平均）

→ 約 7,800ｔ → 産業廃棄物としての処分費
約 150,000 千円/年

→ 約 1,000ｔ → 有効利用（植生基盤材の材料）
有価で販売：約 16 千円/年

（２）今回の取組内容

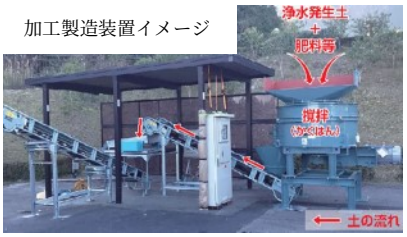
・発生土加工装置の設計・施工、運転・維持管理（ＤＢＯ）、並びに、加工土の販売まで含めた一括発注
・園芸用土への加工（肥料等の配合）は、受託業者のノウハウを活用
・加工して出来た園芸用土を販売し、産廃処分費をゼロに

（イメージ）



※通常は全て産廃処分

加工製造装置イメージ





園芸用土

項　目		内　容	受注業者
事業期間	R5.12～R6.9	設計・施工	西武造園株式会社（大阪府大阪市）
	R6.10～R22.3	運転・維持管理	
		有効利用業務（園芸用土販売）	西武アグリ株式会社（埼玉県所沢市）

3　今後の予定

今回の取組を、浄水発生土の性状の異なる他の浄水場で展開していけるよう検討していく。

5　管路更新における新工法を取入れた施工

（水道企画課）

1　要　旨

企業局では、管路の更新にあたっては、工事費の削減につながる工夫や、新工法を取入れている。今般、静清工業用水道三保線（二）の管路更新工事では、既設管路を活用したパイプインパイプ工法、管更生工法を採用した。

引続き、現場の状況を勘案しながら、最新・最適な工法を採用していく。

2　概　要

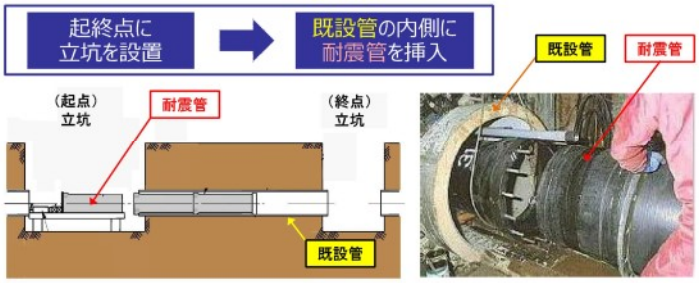
今回採用した両工法は、管の強度などは保持しつつ、工期の短縮が図られ道路掘削が一部不要となる。また、仮設工に費用がかかる場合や、埋設物の移設が困難な場合などで有効。

（1）今回の現場条件

・地下水位が高いため、薬液注入などの仮設工が必要
・交通量の多い交差点部に多数の占用物件（水道、下水道、ガス、中電、ＮＴＴ）
・送水ルートが複数あり当該地区の長期期間の断水が可能
・ダウンサイジングすることが可能な区間

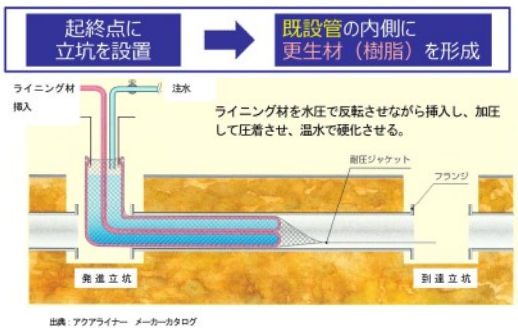
（2）パイプインパイプ工法　：　既設管の内側に最新の耐震管を挿入する工法

・１～２週間程度の断水が可能な箇所で、管径のダウンサイジングが可能な場所で有効



（3）管更生工法　：　既設管の内側に樹脂硬化管を形成させる工法

・ユーザーとの調整で１～２日程度の断水が可能な箇所などで有効
・既設管の曲線部においても施工が可能





更生前の内面（錆コブ）　　更生後の内面状況

6　地域振興整備事業（工業用地造成事業）の状況

（地域整備課）

1　要　旨

地域振興整備事業は、県政の推進に必要な地域振興に寄与する事業として、市町のまちづくりに呼応した工業用地等を造成して供給する事業を行っている。あわせて、開発可能性調査への助成等を通じて、新たな工業用地等の開発に向けた市町の取組を支援している。

また、地域振興整備事業と工業用水道事業、水道事業を合わせた局事業の広報活動の一環として、大学生を対象とした講義を行った。

2　概　要

（1）新たな工業用地等の開発

①　事業実施中の地区の状況（R6.１.31 現在）

（ア）牧之原萩間工業用地（オーダーメード方式：スズキ(株)）

区　分	内　　容
所在地・面積	牧之原市萩間地区（スズキ㈱相良工場 西側隣接地）、約 46.8 ha
事 業 期 間	令和４年度から 10 年程度
概算事業費	約 140 億円（造成後の設備費等は未公表）
用　　途	ＥＶ化、自動運転等の次世代ﾓﾋﾞﾘﾃｨの研究開発（相良工場の拡張）
状況と予定	R5.2～　委託業者による測量、用地、地質調査、実施設計等を実施 R5.12.18 用地買収地元説明会（市長、地元市議、区長５名、地権者 27 名） R6.1～　用地買収開始 （以下予定） R6.10　造成工事設計完了 R7.3　造成工事発注

（イ）長泉東野工業用地（オーダーメード方式：(株)富士製作所）

区　分	内　　容
所在地・面積	長泉町東野地区（長泉南一色工業団地 隣接）、約 1.1 ha
事 業 期 間	令和４年度から令和７年度
概算事業費	約５億円（造成後の設備費等は未公表）
用　　途	木材加工機械及び工作機械等の製造工場（沼津市から移転）
状況と予定	R5.5～R6.3　町教育委員会による埋蔵文化財本発掘調査を実施 R5.12 末　用地買収完了（地権者５名） R6.1.24　㈱富士製作所と局による土地売買契約締結 R6.1.26　造成工事入札公告（総合評価簡易Ⅱ型） （以下予定） R6.3～R7.3　造成工事実施 R7.6　確定測量、引渡し

②　事業実施に向け準備中の地区

・藤枝市内谷（うつたに）地区

藤枝市が令和４年度に開発可能性基本調査を実施し、北村市長が令和５年２月、市議会において同地区に工業用地を整備する方針を示した。現在、市による地元調整が行われており、今後、正式な依頼を受け、企業局による事業実施に向けた協議・調整を進めていく予定。

③　工業用地等開発可能性調査費補助金

（ア）令和５年度の実施状況

今年度は下記３市において調査を実施しており、局は補助金による助成と技術的支援により、市の取組を支援している。今後は調査結果を基に、市と事業化に向けた協議を進めていく。

区　分	市町名	対象面積	補助金交付決定額	交付決定
基本調査	沼津市	約3.7ha	2,500千円	Ｒ５．４．28
	三島市	約5.4ha	2,500千円	Ｒ５．５．９
詳細調査	湖西市（内山地区）	約8.2ha	25,000千円	Ｒ４.12.７（R4から繰越）

（イ）令和６年度の実施見通し

令和６年度における基本調査の実施については、これまでに富士市、三島市及び磐田市から補助金活用要望を受けている。現在、要望を受けた地区の状況を把握するため、各市とのヒアリングや現地確認など事前調整を進めており、引き続き、来年度早期の補助金交付決定に向け、市と連携して取り組んでいく。

（２）局事業の広報

①　概　要

企業局事業の広報活動の一環として、静岡産業大学の小泉祐一郎教授の協力により、大学生に向けて、地域振興整備事業を中心に工業用水道事業、水道事業を紹介する講義を実施した。

引き続き、ＰＤＣＡを回しながら内容の充実を図るなど、積極的な広報を進めていきたい。

②　講義の概要

項　目	内　　容
目　的	若年層に対する県や企業局事業の情報発信の強化
テーマ	“まちづくり”と工業団地の整備
講義の内容	・水道事業、工業用水道事業、地域振興整備事業の概要や経営革新の取組 ・工業団地造成による「市町の“まちづくり”の実現」の支援 ・本県産業の特色、造成により期待される経済効果、今後の事業展開など

③　実施状況

日　付	対　　象	講　義　名	受講者数
R5.10.10	静岡産業大学（藤枝キャンパス）	都市マネジメント	78人
R5.10.23	静岡産業大学（磐田キャンパス・Web形式）	都市マネジメント	16人
R5.11.９	静岡県立大学	行政法Ｂ	８人

④　学生の感想と質問

講義に対する学生の感想は良好であった。講義後に学生から寄せられた質問には、大学を通じて丁寧に回答し局事業の理解促進を図った。

【主な感想】

・産業の発展やまちづくりに大きな影響を与えており、工業用地の供給に対するイメージが変わった

・局の事業に興味を持った。他部署の業務も知りたい

【主な質問】

・工業用地の計画を策定してから用地になるまでの期間

・工業用地を作ることに関してのデメリット

・造成や企業誘致に関する苦労

・水道管の二重化プランで延命できる期間やデメリットとリスク



写真：静岡産業大学（藤枝キャンパス）での講義の様子

企業局情報通信
K－RELEASE
VOL. 234

静岡県企業局
● 電　話　054-221-2153
● F A X　054-251-5381

発行　令和５年１１月２７日

Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA
東アジア文化都市 2023 静岡県

企業局と文化　～施設紹介　富士川水管橋～

富士川水管橋は富士川浄水場（標高約 10m）から厚原浄水場（標高約 65m）に工業用水を送るために東駿河湾工業用水道の導水管路として昭和 45 年 3 月に完成しました。





富士川をまたぐこの水管橋は、直径２.２ｍの送水管２本を10連のアーチが補助するランガー橋という構造となっており、１日に約 68 万ｔの水を通すことができます。

富士川水管橋は、全長 1,040mと、水管橋としては日本有数の長さを誇ります！



東アジア文化都市 2023 静岡県

期間限定の催しを見逃さずに。終了まであともう少しです！！

天竜浜名湖鉄道掛川駅は、期間中、副駅名を「東アジア文化都市 2023 静岡県」駅とし、オリジナルデザインの駅看板の設置や、オリジナルヘッドマークを装着した列車の運行を行っています。

令和５年 12 月 31 日までの実施となっておりますので、ぜひ足を運んでみてください！


ヘッドマーク装着列車



ホーム駅名看板



JR 掛川駅側看板

東アジア　静岡県　　検索

https://culturecity-shizuoka.jp

企業局の取組紹介　～水道イノベーション賞～

企業局では、デジタル技術の実装化としてＲ４年度から管路台帳の３次元モデル化に取り組んでいます。今年度、この新たな取組について、広く県内外の事業体へ発信することを目的に「水道イノベーション賞」に応募しました。

今回、受賞とはなりませんでしたが、優良事例として水道産業新聞に掲載されました。今後も積極的にデジタル技術の研鑽に努めてまいります。

※水道イノベーション賞とは
公益社団法人日本水道協会の会長表彰の１つであり、さまざまな工夫を持って課題の克服に取り組んでいる日本水道協会正会員（水道事業体）を表彰し、その功績をたたえることにより、日本の水道界が新たな取組に着手する気運を高めることを目的としています。

応募項目：管路台帳の３次元モデル化

取組内容	・３次元点群データ※1を取得可能なLiDARスキャナ※2機能付スマートフォン及びタブレットとアプリケーションを使用し、管路布設工事等における埋戻し前の露出管の３次元データを取得 ・取得したデータ及びオープンデータである地上点群データを３次元仮想空間に展開し、点群データをもとに３Ｄモデリングを実施 ・管路台帳の３次元モデル化を図ることで、管路を正確な位置情報（世界測地系座標）で管理することが可能となり、管路情報等もデータに付与できる

※１　３次元点群データ：３次元測量によって得られた３次元座標(X,Y,Z）と色情報（R,G,B）を持った点データの集合
※２　LiDAR（ライダー）スキャナ：レーザー光の反射を利用して、モノや地形の距離を読み取る機能

期待される効果	・埋設管の可視化　・破損事故の予防効果 ・防災への利活用　・管路を正確な位置情報で適正管理





管路の３次元モデル化
（地下空間の可視化）

管路台帳の３次元モデル化の取組については、Ｋリリース vol.229 でもっと詳しく説明してるよ！
HP へのリンク



令和５年度イノベーション賞受賞取組

項番	取組名（プロジェクト名）	応募団体名
①（大賞）	いつでもどこでもスイスイ水道のお手続き！～「東京都水道局アプリ」の開発	東京都水道局
②（特別賞）	宮城県上下工水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）の導入	宮城県企業局
③（特別賞）	木材パネル（ＮＬＴ）を活用した木質建屋による施設更新－経営持続、森林再生、カーボンニュートラルに貢献する水道施設整備－	南会津町環境水道課

受賞した取組の内容や、そのほかの応募事例については、公益社団法人日本水道協会のホームページにて御覧いただけます。

令和5年度　企業局優良建設工事等表彰

企業局では、建設業における技術力の向上や適正な施工を促進するため、卓越した技術力を発揮して優れた成績を修めた建設業者や技術者を表彰しています。令和5年度は、令和4年度に完成した企業局発注工事の中から下の表中の9者を表彰しました。

企業局の事業は、建設業に従事する多くの方々の力で支えられています。今後も企業局の工事への御理解と御協力をよろしくお願いします。

令和５年度　企業局優良建設工事等表彰　受賞者一覧　（敬称略）

企業局長表彰	優良工事部門	静鉄建設株式会社（静岡市葵区）
	優良技術者部門	有限会社　タカミ建工（静岡市清水区）　杉山　博康　氏
	地域貢献部門	木内建設株式会社（静岡市駿河区）
事務所長表彰（東部）	優良工事部門	協立電機株式会社（静岡市駿河区）
事務所長表彰（西部）	優良工事部門	赤堀産業株式会社（浜松市東区）
		株式会社　鈴木土建（牧之原市）
		平野建設株式会社（磐田市）
		株式会社　明電エンジニアリング静岡支店（沼津市）
	優良技術者部門	株式会社　鈴木土建（牧之原市）　川本　孝二　氏

企業局長表彰　表彰式　令和５年 10 月 20 日（金）

＜優良工事部門＞　**東駿河湾工業用水道事業　静清庵配水管路　寺尾橋橋梁架替工事に伴う配水管路移設工事**【施工者：静鉄建設株式会社】

＜受　賞　理　由＞　施工管理、安全対策のほか、関係者調整を積極的かつ適切に行ったこと、また創意工夫により、作業効率や安全性の向上に努めたことで、総合的に優良な水準で安全に工事を完成させ、他の模範となる工事でありました。



局長表彰（右：静鉄建設㈱代表取締役社長）



受賞者と企業局幹部職員



東部事務所表彰式（11月７日）



西部事務所表彰式（11月１日）

水道事業の業務状況（令和5年10月25日現在）

（単位：千m3、%）

項目		基本水量（日量）	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累　計	10月分	累　計	累　計
駿　豆	当該年度	100	3,000	21,400	712	5,122	23.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	96.1	87.9	
榛　南	当該年度	27	810	5,778	436	2,980	51.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.8	96.1	
遠　州	当該年度	292	8,763	62,509	5,130	35,339	56.5
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	103.2	100.2	
合　計	当該年度	419	12,573	89,687	6,278	43,441	48.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	102.2	98.3	

工業用水道事業の業務状況（令和5年10月25日現在）

（単位：千m3、%）

項目		基本水量（日量）	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累　計	10月分	累　計	累　計
柿田川	当該年度	100	3,000	21,400	2,317	17,388	81.3
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	82.0	85.4	
ふじさん(富士川)	当該年度	25	744	5,419	477	4,408	81.3
	前年度同期比	100.0	100.0	101.6	99.5	100.8	
ふじさん(東駿河湾)	当該年度	298	8,940	64,575	6,345	48,093	74.5
	前年度同期比	99.1	99.1	98.9	89.4	94.3	
静　清	当該年度	46	1,386	9,766	1,020	7,183	73.6
	前年度同期比	91.6	91.6	91.5	98.8	92.2	
中　遠	当該年度	33	997	7,111	423	2,768	38.9
	前年度同期比	100.0	100.0	98.5	107.5	100.2	
西　遠	当該年度	30	893	6,270	597	4,289	68.4
	前年度同期比	99.2	99.2	99.3	98.8	101.4	
湖　西	当該年度	17	498	3,477	292	2,100	60.4
	前年度同期比	100.3	100.3	100.1	101.9	101.9	
合　計	当該年度	549	16,458	118,018	11,471	86,229	73.1
	前年度同期比	98.7	98.7	98.6	90.2	93.1	

工業用水道事業水質試験結果（令和5年10月）

10月の水質試験結果（月平均）は、全工水で**各項目標準値以内**となっています。　※月平均

項目（単位）（標準値）	水温（℃）-	濁度（度）20度以下	ph 6.5≦pH≦8.0	アルカリ度(mg/l) 75mg/l以下	硬度(mg/l) 120mg/l以下
柿田川	16.3	0.2	7.3	51.8	47.9
ふじさん(富士川)	14.1	0.6	7.6	46.0	39.2
ふじさん(東駿河湾)（岳南地区）	18.4	1.5	7.5	52.6	65.0
ふじさん(東駿河湾)（静清庵地区）	18.0	1.0	7.7	53.0	66.8
静　清	20.5	0.2	7.2	59.5	76.9
中　遠	23.0	0.2	7.7	41.8	44.4
西　遠	21.5	0.4	7.4	41.0	48.8
湖　西	18.9	0.4	7.5	18.1	19.6

※その他項目等の水質試験結果の詳細は企業局HPにて
https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/suido/kogyoyosui/1003708/1030503.html

企業局情報通信
K-RELEASE VOL. 235

静岡県企業局
● 電　話　054-221-2153
● F A X　054-251-5381

発行　令和５年１２月２５日

Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA
東アジア文化都市 2023 静岡県

企業局水道技術研修を実施しました！

企業局では、将来にわたりユーザーの皆様に良質な工業用水・水道用水を安定供給するため、日頃から職員の知識や技術の習得に努めており、様々な研修を実施しています。

今般、11 月 21 日に、災害や突発事故による水道施設等の漏水等に迅速・的確に対処できるよう水道技術の基礎知識の習得を目的とした「水道技術研修」を開催しました。

水道用語、水の特性等の講義



他県参加者（愛媛県・北海道）の事業紹介



各種弁の操作・特性確認



配管講習（漏水補修等・実技）



東アジア文化都市 2023 静岡県

「東アジア文化都市 2023 静岡県」はフィナーレを迎えます！

2023 年 12 月末日をもって、「東アジア文化都市 2023 静岡県」の期間は終了となります。静岡県として１年間のこの事業を通じて、市町や民間団体の尽力により生まれたつながりや取組を一過性のものとすることなく、文化で地域を盛り上げる気運を引き継いでいきます。



youtube に今までの取組等をまとめた動画をアップしています。

↑ リンク

東アジア　静岡県　検索　https://culturecity-shizuoka.jp

令和４年度決算の概要

損益計算書【P/L】（令和４年４月１日から令和５年３月 31 日）

（単位：百万円、税抜き）

	工業用水道事業	水道事業	地域振興整備事業
営業収益 a	4,278	5,933	1,542
給水収益	4,177	5,851	—
土地売却収益	—	—	1,542
その他営業収益	101	82	—
営業費用 b	4,363	5,668	1,563
営業利益 c=a-b	**▲ 85**	**265**	**▲ 21**
営業外収益 d	180	536	3
営業外費用 e	155	215	14
経常利益 f=c+d-e	**▲ 60**	**586**	**▲ 32**
特別利益 g	863	0	41
特別損失 h	3	0	0
当年度純利益 i=f+g-h	**800**	**586**	**9**

３会計決算の概要

・工業用水道事業・水道事業

動力費等が増加しましたが、料金改定や未利用地の売却等により黒字となりました。

・地域振興整備事業

富士大淵工業団地の引渡を行い、黒字となりました。

当年度純利益の活用先

・工業用水道事業・水道事業

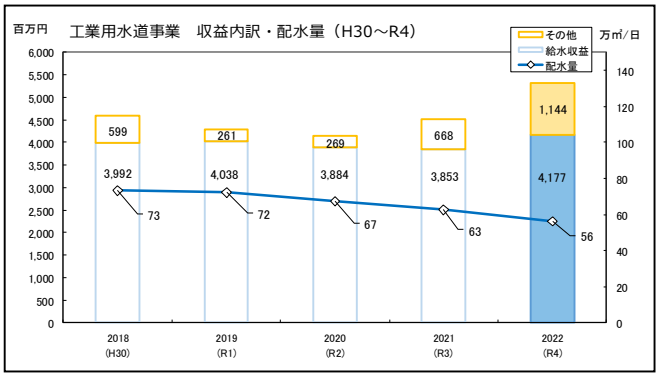
施設整備のために借りた借入金(企業債)の返済や将来の施設更新費用に使用します。

・地域振興整備事業

繰越欠損金を補てんし、新たな用地開発に向けた先行投資に使用します。

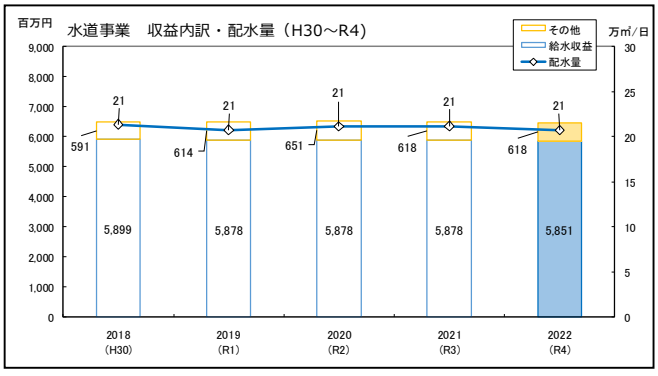
（注）各事業会計は独立しているため、各事業の損益が他の事業に影響を与えることはありません。

５年間（H30～R4)の営業状況



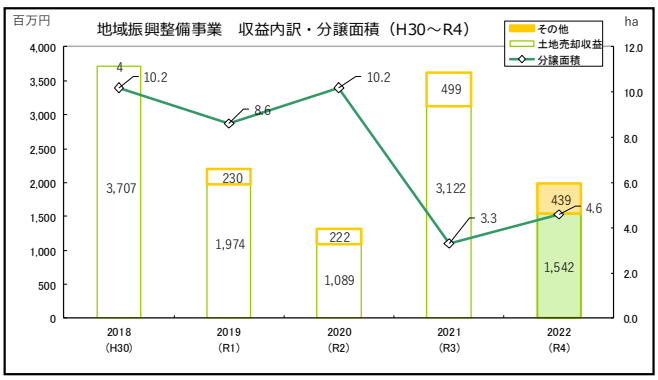
工業用水道事業会計のポイント

- ☑ R4 給水収益は料金改定により増加
- ☑ R4 その他収益は遊休地売却による特別利益により大幅に増加
- ☑ 給水収益及び配水量は長期的に減少傾向にあるため、コスト削減等に取り組んでいます



水道事業会計のポイント

- ☑ 市町に供給した水道用水の配水量はほぼ横ばいで推移
- ☑ 過去５年間の収益も横ばいで推移
- ☑ 将来にわたって安定的に給水するため、コスト削減に取り組みながら施設・管路の更新をしていきます



地域振興整備事業会計のポイント

- ☑ R4 は富士大淵工業団地 4.6ha を分譲
- ☑ 他の工業用地への先行投資に使用する費用が発生するため、赤字になる年度があります
- ☑ 工業用地毎の損益が黒字になるように経営しています

貸借対照表【B/S】（令和５年３月31日）

（単位：百万円、税抜き）

	工業用水道事業	水道事業	地域振興整備事業
固定資産	43,444	66,471	2
うち構築物	(25,461)	(36,667)	—
開発整備資産	—	—	98
流動資産	6,552	7,916	8,903
うち現金預金	(5,035)	(7,189)	(8,902)
資産合計	49,996	74,387	9,003
固定負債	11,007	12,596	111
流動負債	1,753	1,862	1,459
繰延収益(負債)	5,123	12,707	—
純資産	32,113	47,222	7,433
負債・純資産合計	49,996	74,387	9,003

企業局 B/S の特徴

- **工業用水道事業・水道事業**
  水を送るための管路（構築物）や機械設備を所有することから、固定資産の割合が大きくなっています。
- **地域振興整備事業**
  造成中の用地は開発整備資産に計上されています。企業等からの前受金と自己資金で事業を行うため、借入は行っていません。

（注）繰延収益とは、国庫補助金等の交付を受けて固定資産を取得・改良した場合に、補助金等相当額を会計上負債に整理したものです。現金支出を伴う金銭債務ではありません。

実践！ビルドメンテナンス契約の取組で経費削減！

ビルドメンテナンス（BM）契約とは？

☞施設・設備の建設と完成後の複数年にわたる維持管理業務をまとめて発注する方式

導入の経緯

〇設備工事後の保守点検業務は、毎年単年度で発注しており、設備工事の施工会社または関連会社の一者応札で高落札率が常態化していたため、以下の効果を期待してＢＭ契約を試行しました。

- ☑ 複数年契約による諸経費率の低減
- ☑ 発注段階で維持管理まで含めた入札のため、競争性の向上（落札率低下）
- ☑ 発注事務の軽減
- ☑ （後々の維持管理を見据えた）工事品質の向上



その結果・・・

➡電気設備の全面更新において保守点検業務をセットにして発注することで、**15 年間で 1,000 万円の削減**が可能になった事例も！

今後の展開

〇毎年の点検が必要となる大規模な施設・設備の更新や整備においては、ＢＭ契約によるメリットが大きいと考えられるため、既に行われた BM 契約の課題を検証しつつ、今後も大規模更新の際には、ＢＭ契約の実施を検討していきます。



さらに・・・

➡設計を含めたデザインビルドメンテナンス（ＤＢＭ）契約についても視野に入れていきます！

水道事業の業務状況（令和5年11月27日現在）

（単位：千m3、%）

項目		基本水量（日量）	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			11月分	累計	11月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	24,500	743	5,865	23.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.7	89.1	
榛南	当該年度	27	837	6,615	441	3,421	51.7
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.2	96.3	
遠州	当該年度	292	9,055	71,565	5,346	40,685	56.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	102.3	100.5	
合計	当該年度	419	12,992	102,680	6,530	49,971	48.7
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	101.5	98.7	

工業用水道事業の業務状況（令和5年11月27日現在）

（単位：千m3、%）

項目		基本水量（日量）	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			11月分	累計	11月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	24,500	2,325	19,712	80.5
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	86.6	85.5	
ふじさん（富士川）	当該年度	25	769	6,188	659	5,068	81.9
	前年度同期比	100.0	100.0	101.4	98.6	100.5	
ふじさん（東駿河湾）	当該年度	296	9,177	73,752	6,733	54,826	74.3
	前年度同期比	98.4	98.4	98.8	91.8	93.9	
静清	当該年度	46	1,392	11,158	1,065	8,248	73.9
	前年度同期比	91.7	91.7	91.5	91.9	92.2	
中遠	当該年度	33	1,030	8,141	352	3,120	38.3
	前年度同期比	100.0	100.0	98.7	91.1	99.1	
西遠	当該年度	29	883	7,152	599	4,888	68.4
	前年度同期比	99.2	99.2	99.2	98.2	101.0	
湖西	当該年度	17	498	3,975	290	2,390	60.1
	前年度同期比	100.3	100.3	100.1	101.0	101.7	
合計	当該年度	546	16,849	134,866	12,023	98,252	72.9
	前年度同期比	98.4	98.4	98.6	91.6	92.9	

工業用水道事業水質試験結果（令和5年11月）

11月の水質試験結果（月平均）は、全工水で**各項目標準値以内**となっています。 ※月平均

項目（単位）（標準値）	水温（℃）－	濁度（度）20度以下	ph 6.5≦pH≦8.0	アルカリ度(mg/l) 75mg/l以下	硬度(mg/l) 120mg/l以下
柿田川	16.0	0.1	7.3	51.1	48.9
ふじさん（富士川）	12.9	0.5	7.7	43.4	47.1
ふじさん（東駿河湾）（岳南地区）	14.2	1.6	7.6	54.1	69.7
ふじさん（東駿河湾）（静清庵地区）	13.8	1.2	7.6	55.6	71.7
静清	19.3	0.1	7.3	57.6	76.5
中遠	18.1	0.2	7.5	39.6	41.8
西遠	16.2	0.4	7.3	41.4	50.7
湖西	14.7	0.6	7.4	18.2	20.4

※その他項目等の水質試験結果の詳細は企業局HPにて
https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/suido/kogyoyosui/1003708/1030503.html

企業局情報通信
K－RELEASE
VOL. 236

静 岡 県 企 業 局
● 電　　話　054-221-2153
● F A X　054-251-5381
発行　令和６年１月２５日

浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

企業局事業を分かりやすく！　～新しく動画を作成しました～

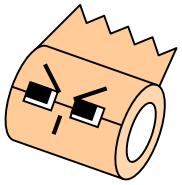
企業局では、今般、県民の皆様に企業局の事業や取組を理解していただくために、富士地区の工業用水道事業を題材にした動画を作成し、令和５年 12 月 25 日（月）から「ふじのくに静岡県庁チャンネル」にて配信中です。ぜひ、ご覧ください！



しずく姫

企業局では将来にわたって、安全・安心な水を届けるためにいろいろな取組をしているけれど、県民の皆様や事業者様に伝えきれているのかな？

せっかく素晴らしい取組や工夫をしているんだから、うまくＰＲしていきたいよね。子どもたちにも分かりやすい動画を作ってみてはどうだろう？



紙パくん

若手職員中心に広報チームを結成！

富士地区の工業用水道の統合をテーマに

約半年間かけて動画が完成！

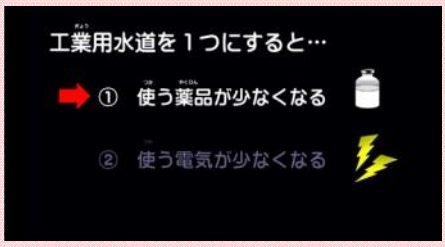
《工業用水ってなに！？産業を支えるお水のお話》



富士市にとって
工業用水とは？



工業用水の浄水工程
を見てみよう！



事業統合のメリット
を分かりやすく説明！



サムネイル画像も厳選しました！

左の二次元コードを読み取るか、下記 URL で検索ください！



https://youtu.be/6ippRuaL03Y

次代を担う若者に企業局事業を発信！
～静岡産業大と静岡県立大で特別講義を行いました～

企業局事業に関する積極的な情報発信の取組として、静岡産業大学の小泉祐一郎教授の御協力により、令和５年秋、静岡産業大学と静岡県立大学の学生を対象に、局職員による特別講義「"まちづくり"と工業団地の整備」を行いました。大学における講義は今年度で３年目となります。

講義の主なテーマは、「工業団地の整備による地域経済への波及効果や市町のまちづくりへの寄与」ですが、「企業局」について広く知ってもらうため、工業用水道事業・水道事業についても紹介し、「老朽化した水道管の更新費用削減」等の課題に対し、様々な知恵を尽くして対応を検討し実践していることを説明しました。

今回の講義をきっかけに、学生が企業局の事業に少しでも興味を持ち、工業用地の造成や工業用水道事業・水道事業の社会的意義の理解が促進されることを期待しています。今後も積極的に企業局事業に関するＰＲ活動を行っていきます。



講義の様子

受講生の感想（抜粋）

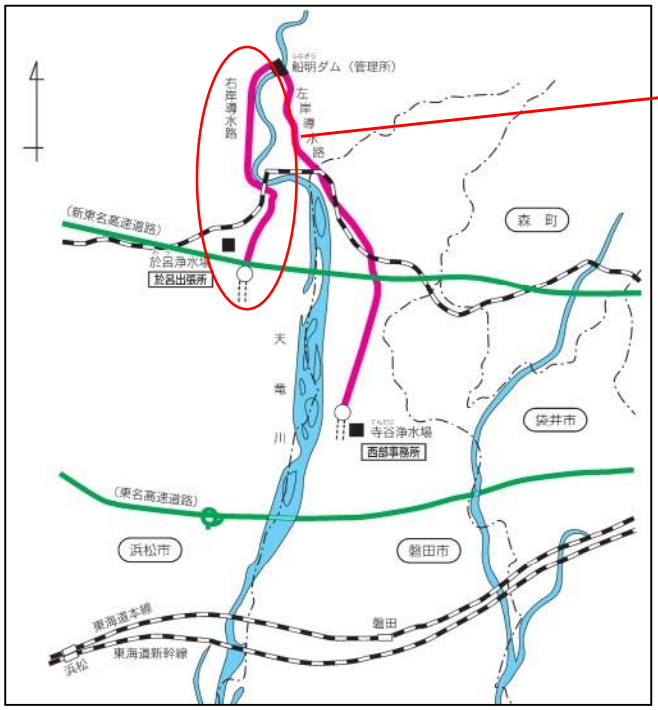
- 地方公営企業として様々な大規模事業を税金を使わずに行っていることを初めて知り、驚いた。
- 水道管二重化プランによって更新費用を大幅に削減しており素晴らしいと感じた。
- 工業団地の整備は産業の発展やまちづくりに大きな影響を与えていることを知り、工業用地の供給に対するイメージが大きく変わった。
- 人を増やすためには工業団地よりも住宅地や商業地を増やす方が良いと考えていたが、工業団地を整備することによって優良企業を誘致し、製造業をより盛んにしていくことで地域に経済波及効果がもたらされることを知り、納得した。
- 企業局という組織があることを初めて知ったが、県の経済発展のために重要な仕事をしているのだと思った。候補地に対する企業の需要や自然保護、交通網に関する条件を満たすためにどうするべきか、非常に考えさせられました。

導水トンネルの定期点検を実施しました！

天竜川の船明ダムは、発電のほか、農業用水、工業用水、水道用水の取水を目的に昭和54年に共同施工により建設されました。ダムから取水した用水は、同じく共同施設である天竜川下流用水の導水路により各々の施設に送られています。

企業局は、受託により共同施設の点検・維持管理をしており、日常点検が困難な導水トンネルは、毎年度右岸・左岸各々３日間ずつ１日４時間の断水をして、職員が定期点検しています。12月には、右岸導水トンネルの点検を２日間実施しました。

天竜川下流概要図



天竜川下流用水右岸導水路 L＝約 7.7km
うち導水路トンネル L＝約 6.4km



トンネルは馬蹄形のトンネルです。

○天竜川下流用水は、供用開始から40年余を経過し、定期的な点検と計画的な維持補修の重要度は、ますます増大しています。

○トンネル内を歩きながら、内壁にクラックや剥離等がないか目視点検します。

○過去の点検データも確認しながら、新たな損傷の発生がないか、過去の補修箇所に破損の進行がないか、慎重に点検を行っています。（右写真）



点検状況

今回の点検では、補修箇所の破損の進行及び新たな損傷等の発生は見られませんでした。
今年度の導水トンネルの点検は、2月中までに実施を予定しています。
今後も定期的な保守点検を実施して、安全･安心な水の供給に努めてまいります。

年末に洗管作業を実施しました！（中遠工業用水道）

中遠工業用水道では、良質な工業用水を供給するため、磐田エリアと袋井エリアに分けて洗管作業を行っており、今年度は12月29日に袋井エリアで実施しました。

洗管作業は、管路の水の流れを速くし、底に溜まった砂等を取り除く作業です。

洗管作業中は断水を伴い、ユーザー様には御不便をおかけしましたが、無事作業が終了しました。御協力に感謝申し上げます。



洗管（排水）作業中

水道事業の業務状況（令和5年12月25日現在）

（単位：千m3、%）

項目		基本水量（日量）	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			12月分	累　計	12月分	累　計	累　計
駿　豆	当該年度	100	3,000	27,500	725	6,590	24.0
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.4	90.0	
榛　南	当該年度	27	810	7,425	415	3,836	51.7
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	92.0	95.8	
遠　州	当該年度	292	8,763	80,328	5,283	45,968	57.2
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.4	100.4	
合　計	当該年度	419	12,573	115,253	6,423	56,394	48.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.6	98.8	

工業用水道事業の業務状況（令和5年12月25日現在）

（単位：千m3、%）

項目		基本水量（日量）	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			12月分	累　計	12月分	累　計	累　計
柿田川	当該年度	100	3,000	27,500	2,426	22,138	80.5
	前年度同期比	100.0	96.8	99.6	87.8	85.8	
ふじさん（富士川）	当該年度	25	744	6,932	633	5,701	82.2
	前年度同期比	95.5	92.4	100.4	91.6	99.4	
ふじさん（東駿河湾）	当該年度	296	8,881	82,634	6,633	61,458	74.4
	前年度同期比	98.4	95.3	98.4	97.5	94.3	
静　清	当該年度	46	1,389	12,547	1,006	9,254	73.8
	前年度同期比	91.7	91.5	91.5	96.6	92.6	
中　遠	当該年度	33	997	9,137	391	3,512	38.4
	前年度同期比	100.0	96.8	98.5	98.3	99.0	
西　遠	当該年度	29	873	8,025	604	5,493	68.4
	前年度同期比	99.2	98.2	99.1	100.1	100.9	
湖　西	当該年度	17	498	4,473	281	2,670	59.7
	前年度同期比	100.3	100.2	100.1	100.3	101.6	
合　計	当該年度	546	16,382	151,248	11,974	110,226	72.9
	前年度同期比	98.2	95.5	98.2	95.2	93.2	

工業用水道事業水質試験結果（令和5年12月）

12月の水質試験結果（月平均）は、全工水で**各項目標準値以内**となっています。　※月平均

項目（単位）（標準値）	水温（℃）-	濁度（度）20度以下	ph 6.5≦pH≦8.0	アルカリ度(mg/l) 75mg/l以下	硬度(mg/l) 120mg/l以下
柿田川	15.7	0.0	7.3	52.1	50.2
ふじさん(富士川)	11.5	0.4	7.8	44.3	44.6
ふじさん(東駿河湾)（岳南地区）	10.0	2.0	7.4	47.1	69.5
ふじさん(東駿河湾)（静清庵地区）	9.8	1.1	7.7	50.6	71.2
静　清	17.4	0.1	7.3	59.6	80.6
中　遠	14.5	0.1	7.5	40.1	43.2
西　遠	11.0	0.5	7.2	40.0	49.7
湖　西	10.4	0.5	7.6	16.2	18.6

※その他項目等の水質試験結果の詳細は企業局HPにて
https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/suido/kogyoyosui/1003708/1030503.html

富士市立			小学校
3年　組	4年　組	5年　組	6年　組
なまえ			

令和6年度版　富士市教育委員会

富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

富士市についてもっと知ろう！





みかん

キウイフルーツ

イチゴ

片倉(大淵)
葛飾北斎の版画と同じ風景だよ
2マス進む

広見公園
季節の花と建物がいっぱい

富士山かぐや姫ミュージアム
たくさん学んだよ！
1マス進む

龍巌淵
さくらと富士山の写真が有名だね

道の駅 富士川楽座
さいころをふって
⚀⚁ は1回休み
⚂ は東名高速道路を使って広見公園へ

かりがね堤
富士市を守っているよ

ふじさんてらす Mierula(市役所)
ほかのルートも楽しそうだね
富士塚までもどる

古谿荘
古い建物を見たよ
1回休み

富士川河口
河川敷でサッカーをやったよ

ふじ 小学校社会科副読本【令和6年度版】 富士市教育委員会

ふじ

（参考）
富士市社会科副読本

見たい　知りたい　わたしたちのまち

ゴール
おめでとう！
富士市マスターをめざそう！

お鉢巡り
1周約90分のコースでつかれちゃった
1回休み

九合目

九合五勺

八合目
富士のまちと駿河湾がきれいだね
1回休み

新七合目
のどがかわいたな
大淵笹場までもどる

元祖七合目

大淵笹場
富士の茶むすめからお茶をもらったよ

お茶

富士山自然休養林
富士山の自然とふれあおう

六号目
山小屋でおとまりだ
2回休み

宝永山

総合運動公園
気持ちよく走ろう！
1マス進む

しきみ

富士ヒノキ

平家越の碑
れきしについて勉強したよ
2マス進む

吉原宿
ひとやすみ
もういちどさいころをふって
⚀ は2マス進む
⚁⚂ は1回休み

名勝・左富士
見とれて道をまちがえた！
1マスもどる

富士なし

田子の浦港 漁協食堂
しらす丼で元気いっぱい！
2マス進む

紙工場

富士塚
安全にゴールできますように！



ふじのくに田子の浦みなと公園
「はじまりの鐘」を鳴らしてスタート

田子の浦しらす

スタート！
ルートは3つあるよ
すきなルートを進んでね！

⑤工業用水と工業排水路

工業用水がどこからきているのか P24 を参考にして見てみましょう。



ふじさん工業用水道
蒲原取水場で取水して



富士川浄水場へ行き



富士川水管橋を通り



送水管はこんなに大きいです。



浄水場できれいになった工業用水です。



厚原浄水場に送られます。



各工場に送水されて使われます。



使った水は、各工場の排水処理施設できれいにされ排水路に流されます。

右ページの答え　上の写真…今までの管の中に新しく壁を作るための材料です。
下の写真…ひびわれなどの補修をしています。

工業排水が通る排水路の中をのぞいて見ましょう。



こんな大きな管の中を通って川や海に流れて行きます。



これは管の中に使います。
何に使うと思いますか？



何の作業をしていると思いますか？

富士川浄水場　厚原浄水場



岳南排水路の管の中です。



排水路の中で点検しています。



学習教材の御案内

（静岡県企業局）

産業学習の推進につきましては、日頃から御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、企業局では、次代を担う児童に工業用水道の仕組みや大切さを知っていただくため、学習教材として、動画を作成いたしました。
つきましては、貴校における産業に関する学習の一環として、是非取り入れていただきたく、御案内申し上げます。（なお、令和６年度の富士市様の社会科副読本に掲載予定です。）

1　学習教材の概要

媒　体	**ナレーション付き動画（約 11 分）**
テーマ	富士市の工場で使う水の話
ポイント	・富士市における工業用水の役割 ・工業用水を工場へ届けるまでの工程 ・工業用水道統合の効果
備　考	・動画を見て答えるワークシートを用意しています ・浄水場の施設見学の対応も可能です（日程は応相談）

動画のリンク

2　動画の概要

前半　富士市における工業用水。工業用水を工場へ届けるまで

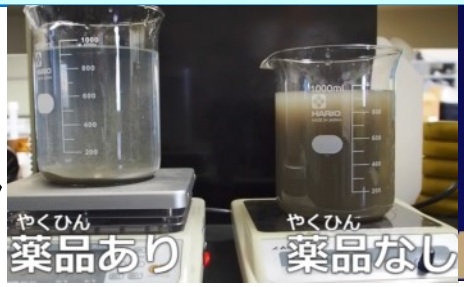


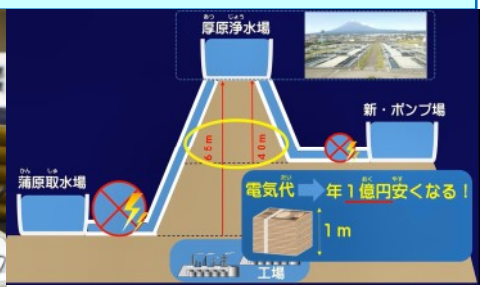


浄水場施設見学では、自分の目で管路の大きさを実感できます!

後半　工業用水道統合の効果（薬品費、電気代の削減）

水をきれいにする実験も動画で見られます。





先生向けの補足資料も御用意しております

御興味ございましたら、是非、下記までお問い合わせください！！

担当：経営課 後藤　　電話：054-221-2153
mail：kigyou_keiei@pref.shizuoka.lg.jp